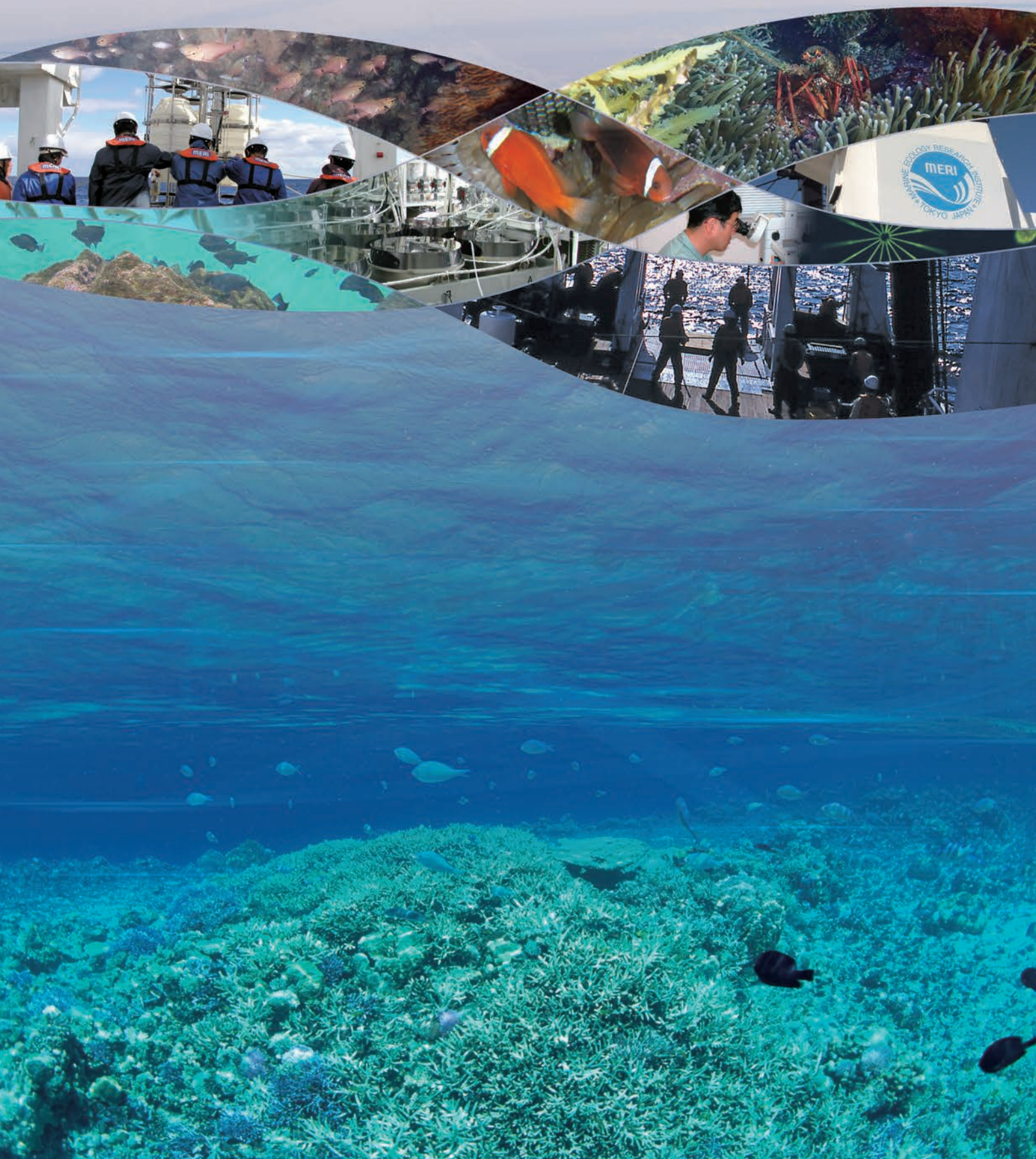
かけがえのない海を未来へ—

公益財団法人
海洋生物環境研究所



海生研 設立の経緯とその後の伸展

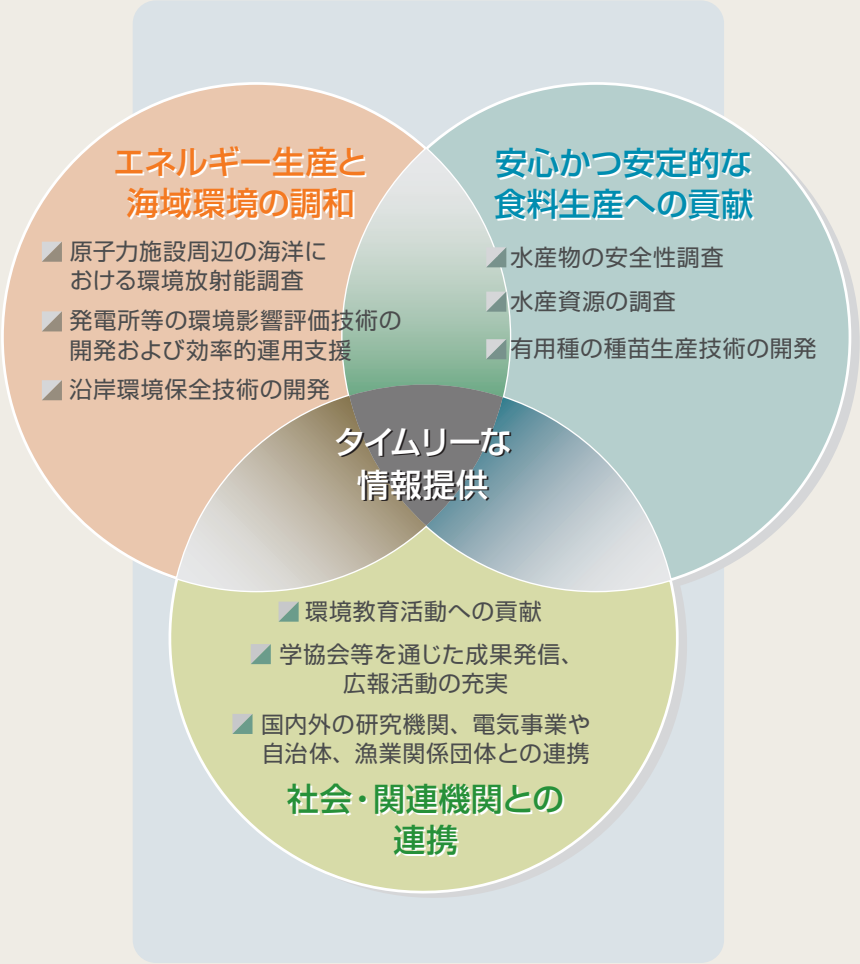
公益財団法人海洋生物環境研究所（海生研）は、発電所の取放水が海域環境や生物に与える影響を科学的に解明する調査研究機関として、当時の環境庁、農林省、通商産業省の共管のもと、1975年12月に財団法人海洋生物環境研究所として設立されました。なお、2012年4月1日には公益財団法人へ移行しました。

設立当初は、発電所の取放水口前面域で魚に発信器をつけて取放水に対する行動を追跡する、水温を様々に変化させることができる実験装置を用いて魚の行動や成長を長時間観察するなど、社会的関心の高い課題に的を絞った実証調査を推進してきました。

その後発電所の取放水のみならず、海洋における環境放射能、海域富栄養化、磯焼けなど、海産生物と海洋環境に関する幅広い調査研究に携わってきました。

最近では、海域生態系への影響予測手法の検討や、微量化学物質の海洋環境における実態調査に加えて、地球温暖化に伴う海水温上昇、海洋酸性化などが海産生物に与える影響に関する調査研究にも着手しております。また、東日本大震災後は東日本周辺海域における海水、海底土、魚介類に含まれる放射性物質の実態調査に力を入れています。

海生研は今後とも公益財団法人として社会のニーズに応え、海域生態系と海洋環境の保全に貢献するため、研究成果を積極的に社会に還元していきたいと考えております。



Demonstration Laboratory 実証試験場
新潟県柏崎市

実証試験場は、東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所に隣接した新潟県柏崎市の沿岸にあります。発電所が取水する海水と放出する温排水を利用した飼育試験施設があり、これらを用いて海域環境の変化や化学物質などが海産生物に与える影響を実験的に評価しています。また、併設する温排水資料展示館では、発電所の温排水が海産生物に及ぼす影響についての研究成果などを展示しています。

Head Office 事務局
東京都新宿区

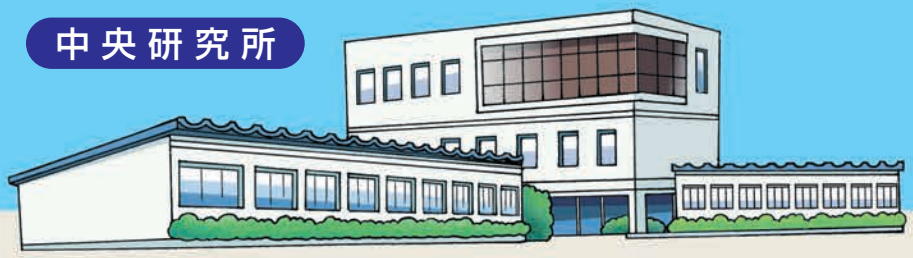
事務局では、研究所全体の管理、研究の企画を行っています。

Central Laboratory 中央研究所
千葉県御宿町

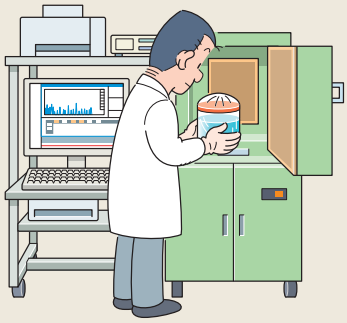
中央研究所は、前面海域から清浄な海水が得られる千葉県外房沿岸の御宿にあります。海洋における環境放射能などフィールドにおける調査研究に加え、小規模な飼育試験施設を利用した実験的な研究を行っています。また、発電所の取放水や環境・生物に関する国内外の調査研究成果を集めたデータライブラリーがあり、外部への情報提供を行っています。

調査研究の概要

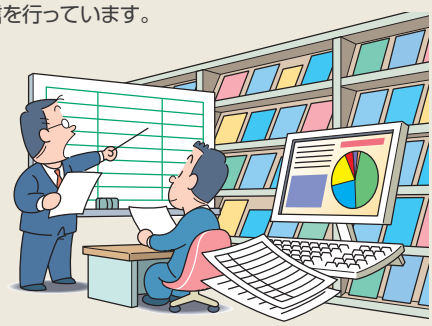
中央研究所



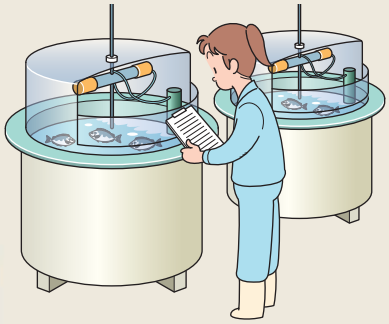
水産物などに含まれる放射性物質を測定しています。

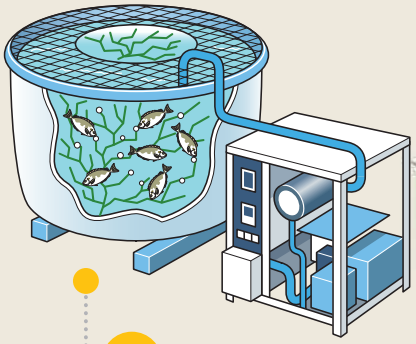


文献や情報の収集と発信を行っています。



実験用生物の飼育繁殖を行っています。この技術を応用して、種苗生産技術の開発を行っています。

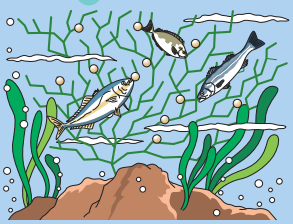


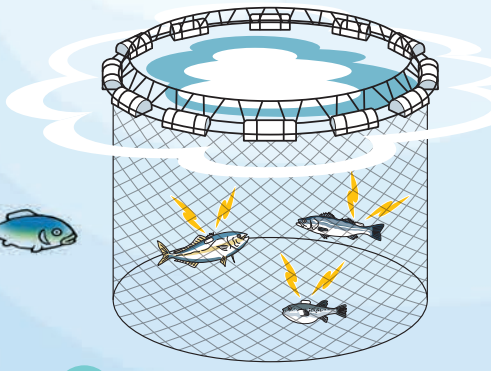


現地調査とタイアップした生物実験を行っています。

発電所の海域環境・生物モニタリング調査結果の解析を行っています。

発電所の取水による生物取り込み影響の実態解明などを行っています。





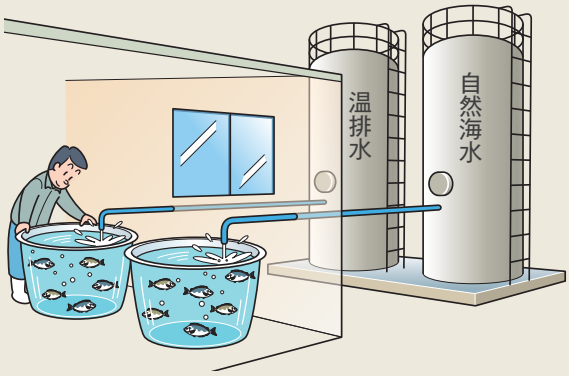
発電所前面海域における魚の追跡や生け簀を用いた実験により、魚類の行動に対する温排水の影響を調べています。

原子力発電所周辺海域や原子燃料サイクル施設沖合海域に位置する主要漁場における魚介類、海底土、海水に含まれる放射性物質の調査などを行っています。

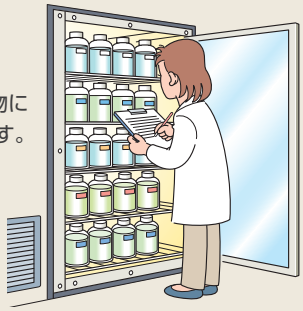
実証試験場

温排水資料展示館

温排水を理解していただくための資料を展示しています。

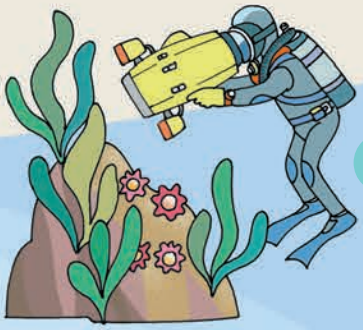


実際の温排水を用いて海産生物を長期飼育培養して成長や成熟について調べています。



微量化学物質の海産生物に対する影響を調べています。

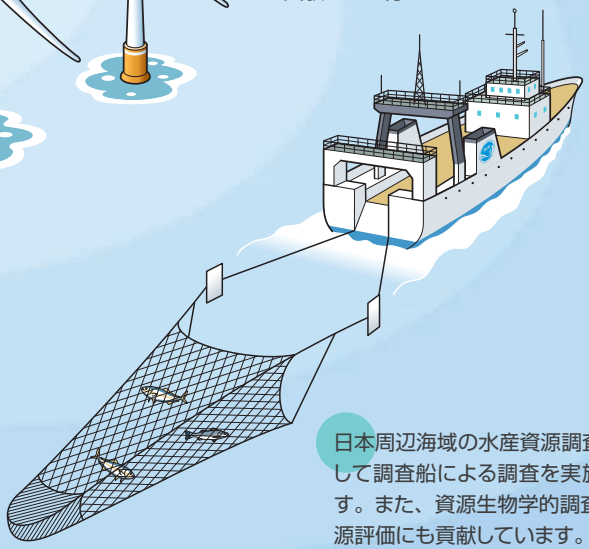
海域の富栄養化や貧酸素などの問題に取り組んでいます。



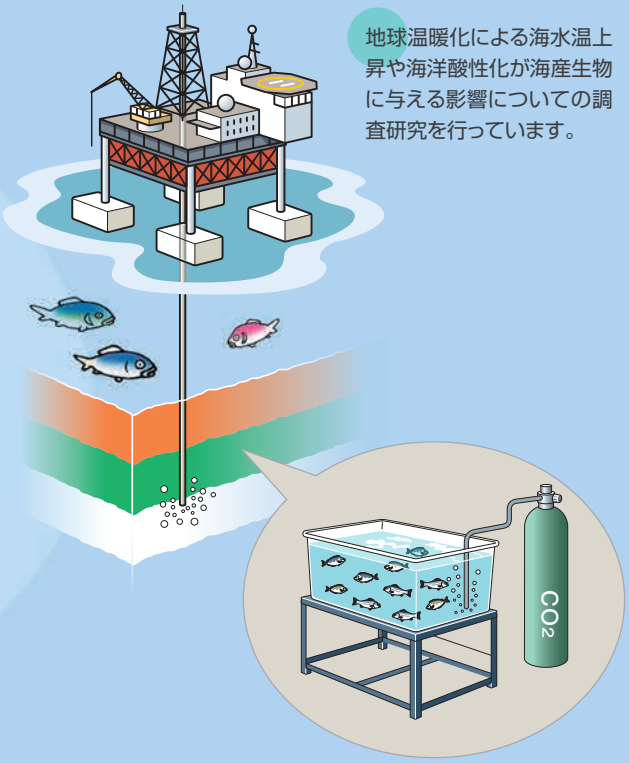
藻類、底生動物に対する温排水の影響とその範囲を調べています。

発電所内の付着生物防止に関する技術の検討を行っています。

洋上風力発電所の建設、稼働が海産生物や漁業に与える影響を調べるため、水中音の影響に関する実験などを行っています。



日本周辺海域の水産資源調査の一環として調査船による調査を実施しています。また、資源生物学的調査を行い資源評価にも貢献しています。



地球温暖化による海水温上昇や海洋酸性化が海産生物に与える影響についての調査研究を行っています。

成果の普及と活用

海生研は、専門知識を活用して国や自治体、民間からの受託調査業務を行っています。また、電源立地地域の自治体や関連する機関の要請に応じて、成果の提供や技術協力などを行っています。

研究成果は、学術雑誌や「海生研研究報告」を通して公表するとともに、広報誌である「海生研ニュース」、パンフレット、ウェブサイトなどを通じて、わかりやすく内容を紹介しています。

ウェブサイトでは「海生研ニュース」や「海の豆知識」のバックナンバー、デジタル・アクアリウムでの実験魚のビデオ解説などがご覧いただけます。

URL https://www.kaiseiken.or.jp/

中央研究所のデータライブラリーでは、国内外の研究報告、学術雑誌などから、取放水関連情報や海洋生物の生態知見などを収集し、海生研の調査研究に役立てるとともに、収集情報を公開して、水産業界、電力業界などの問い合わせにも応じています。

実証試験場に併設する温排水資料展示館では、温排水の生物影響に係る研究成果の紹介に加え、海産生物の展示、また、海洋環境や生物などについて、楽しく学べるような情報を提供しています。

地域との連携

中央研究所、実証試験場では定期的に研究施設を公開しています。飼育試験施設を含む研究設備の見学、生き物の顕微鏡観察、魚の解剖やタッチングプールなどを行うとともに、海の環境や生物に関する研究成果や情報を楽しく、分かりやすく説明しています。また、海藻押し葉しおり、オリジナルエコバッグ作製などの体験コーナーなど、海への関心を高めてもらう試みも行っております。

このほか、総合学習、職場体験学習をはじめとする教育活動や、環境保全活動などに積極的に協力することで、地域とのつながりを大切にしています。

飼育施設見学

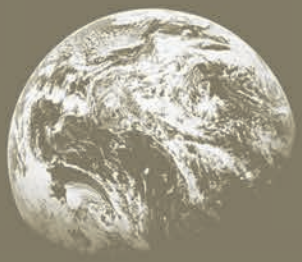
魚の解剖

タッチングプール

総合学習

標本相談

放流事業



かけがえのない海。豊かな資源を育む海。

海生研は、よりよい環境づくりに

一層貢献できる研究所でありたいと願っています。

かけがえのない海を未来へ。

それが私たち海生研の研究コンセプトです。

公益財団法人
海洋生物環境研究所

http://www.kaiseiken.or.jp/

事務局（東京）

〒162-0801　東京都新宿区山吹町347番地 藤和江戸川橋ビル7階
TEL (03) 5225-1161／FAX (03) 5225-1160

中央研究所（御宿）

〒299-5105　千葉県夷隅郡御宿町岩和田300番地
TEL (0470) 68-5111／FAX (0470) 68-5115

実証試験場（柏崎）

〒945-0017　新潟県柏崎市荒浜四丁目7番17号
TEL (0257) 24-8300／FAX (0257) 24-5576

EP2022.11/800/LH